

この説明書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読みください。

第2類医薬品

生薬製剤



痛効散はマオウ(麻黄)、キョウニン(杏仁)、ヨクイニン(薏苡仁)、カンゾウ(甘草)の4種の植物生薬をのみやすいエキス顆粒とした製剤です。

痛効散は次のような症状を目標に使用すると、筋肉の緊張を和らげ、体表に停滞している水分の代謝を改善することによって、関節痛、神経痛、筋肉痛にすぐれた効きめをあらわします。

- ◇関節に水がたまり、腫れて痛む…
- ◇四肢が重だるく痛い…
- ◇冷えたり、風に当たったりすると痛みが増す…
- ◇夕方や明け方になると痛みが増す…
- ◇筋肉が腫れたり、緊張があって痛む…

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる〕

次の人は服用しないこと

生後3ヵ月未満の乳児



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)
- (4) 胃腸の弱い人
- (5) 発汗傾向の著しい人
- (6) 高齢者
- (7) 次の症状のある人
 - むくみ、排尿困難
- (8) 次の診断を受けた人
 - 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効能

体力中等度なものの次の諸症：関節痛、神経痛、筋肉痛、いぼ、手足のあれ(手足の湿疹・皮膚炎)

用法・用量

食前または食間に水またはお湯で服用すること

年齢	1回量	服用回数
大人(15才以上)	1包	1日3回
7~14才	2/3包	
4~6才	1/2包	
2~3才	1/3包	
2才未満	1/4包	

食間とは…食後2~3時間を指します。

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること
- (2)1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること

成分

痛効散は、灰かっ色の顆粒で、3包(1包2g)中、下記植物生薬の抽出乾燥エキス2,020mgを含有します。

〔マオウ……………4.0g ヨクイニン……………10.0g〕
〔キョウニン……………3.0g カンゾウ……………2.0g〕

添加物として乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルスターチを含有します。

保管および取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2)小児の手の届かない所に保管すること
- (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

電話:03-6861-9494

受付時間:9:00~17:00(土、日、祝日、弊社休業日を除く)

® 登録商標

 救心製薬株式会社
東京都杉並区和田1-21-7